

食品中の
放射性物質対策

食品中の放射性物質に関する検査計画（2/3）

		青森県	岩手県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	静岡県
基準値超の品目	きのこ・山菜類等	■	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	○	○	○	○	○
	野生鳥獣の内類	■	○	■	○	■	○	○	○	○	■	○	■	○	○	■	■	■
	豆類		■		■		○											
基準値の2分の1 ～基準値の品目	果実類						■											
	きのこ・山菜類等	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	野生鳥獣の内類	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	穀物(米)				■		■		■									
	穀物(そば)		■		■		■											
	はちみつ						■											
乳・牛肉		■		■					■	■								
海産魚種		○		○			○	○										
内水面魚種		○		○			○	○	○	○	○							

平成26年4月1日から平成27年2月28日までの結果に基づき分類

○基準値を超過したもの(水産物は基準値の2分の1超) ■基準値の2分の1を超過したもの

■飼養管理の重要性や移動性又は管理の困難性等を考慮し検査が必要なもの

厚生労働省ウェブサイト「食品中の放射性物質への対応」より作成 厚生労働省

原子力災害対策本部が定めた「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」(最終改正：平成27年3月20日)では、検査対象品目と対象自治体が図のように整理されました。

検査対象品目は、基本的に過去(平成26年4月以降)の検出値(ゲルマニウム半導体検出器による精密検査によるもの)等に基づき、次のような区分により生産者、製造加工者の情報が明らかなものを対象として選択することとされています。

- (1) 基準値を超える放射性セシウムが検出された品目
- (2) 基準値の2分の1を超える放射性セシウムが検出された品目(①に掲げる品目を除く)
- (3) 飼養管理の影響を大きく受けるため、継続的なモニタリング検査が必要な品目
- (4) 水産物(基準値の2分の1を超える放射性セシウムが検出された品目)
- (5) 計画策定の際に考慮する品目

そのほか6項目も含めた合計11区分。

(原子力災害対策本部「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」2015(平成27)年3月20日に基づき作成)

本資料への収録日：平成25年3月31日

改訂日：平成27年3月31日